

【アンチドーピング対応に関する確認】

2020年6月24日

公益社団法人日本トライアスロン連合（JTU:会長 岩城光英）では、COVID-19 感染拡大からのトライアスロン・パラトライアスロンのトレーニング再開や競技会の開催に向けて、アスリート活動・コーチや指導者の活動も活発になることを想定して、改めてドーピング事象等の発生が起きないように下記事例を挙げて注意喚起して行くものです。JTUでは、オリンピック・パラリンピック同一競技団体として、アンチドーピング委員会を通じ、引き続きさらにアスリート（エリート・エイジ）・関係者に対してアンチドーピング活動を推進してまいります。

= 事例 =

- * サプリメント摂取からの事象
- * 市販の薬剤からの事象
- * 湿布薬からの事象
- * 目薬等からの事象
- * 個人ドリンクの管理からの事象
- * 居場所情報の提供と確認からの事象
- * その他も参照事例はありますが、疑われるような言動もその対象となります。

また、COVID-19 感染対策に関しては、アスリート、ドーピング検査員、職員の感染リスクを防ぐことを最優先にしたアンチドーピング活動に実施を検討して行きます。エリート選手・エイジグループ選手、コーチ、指導者、スタッフを含め意識を持って引き続きアンチドーピング推進等対応に関して、御理解とご協力をお願いいたします。

（公益財団法人日本アンチドーピング機構＝ルールと規則違反＝）

<https://www.playtruejapan.org/code/>

（JTU アンチドーピング・ホットライン（2018年度））

<https://www.jtu.or.jp/news/2018/02/02/13241/>

（ドーピング防止規則違反事例について（2019年度））

<https://www.jtu.or.jp/news/2019/11/26/4124/>

（日本アンチドーピング規定（大会エントリーに際して））

https://archive.jtu.or.jp/register/entry_elite.html

（アンチ・ドーピングに係る留意事項（選手・コーチ向け情報））

https://archive.jtu.or.jp/kyouka/2019/pdf/2019_5.pdf

【ドーピングとは】

ドーピングとは「スポーツにおいて禁止されている物質や方法によって競技能力を高め、意図的に自分だけが優位に立ち、勝利を得ようとする行為」のことです。禁止薬物を意図的に使用することだけをドーピングと呼びがちですが、それだけではなく、意図的かどうかに関わらず、ルールに反する様々な競技能力を高める「方法」や、それらの行為を「隠すこと」も含めて、ドーピングと呼びます。ドーピングは、自分自身の努力や、チームメイトとの信頼、競い合う相手へのリスペクト、スポーツを応援する人々の期待などを裏切る、不誠実で利己的な行為であり、ドーピングがある限り、そもそもスポーツはスポーツとして成り立つことができません。

【アンチ・ドーピングとは】

アンチ・ドーピングとは、ドーピング行為に反対（anti アンチ）し、スポーツがスポーツとして成り立つための、教育・啓発や検査といった様々な活動のことです。スポーツは、そもそも、その参加者がフェア（公正）でなければ成り立ちません。JADA は、アンチ・ドーピング活動によって、すべての人がフェアであることを支え、アスリートの健康を保護するために、ドーピングの撲滅を目指しています。アンチ・ドーピング活動には、2つの種類があります。1つ目は、残念ながら現在スポーツにおいて報告されるドーピングをゼロにすること。そして2つ目は、スポーツにおいてドーピングが起らないよう予防的な活動をすることです。

アンチ・ドーピングは決してドーピングしているアスリートを排除するだけの活動ではありません。アスリートがドーピングのリスクを理解し、そのうえで自分自身、自分のとりくむ競技、スポーツ全体を守るために具体的な行動を行うことや、その教育活動を推進すること。さらに、ドーピングを予防する観点から、スポーツ、社会における「フェアネス」の価値観を共有していくこともアンチ・ドーピング活動に含まれます。

【なぜ、アンチ・ドーピングが必要なのか】

競い合う相手がドーピングをしているかもしれないという疑いがある時、自分自身が真剣にスポーツに打ち込めるでしょうか？相手の勝利を心から称えることができるでしょうか？また、スポーツにおいてドーピングが当たり前になったら、どのようなことが起こるでしょうか？スタジアムへスポーツを見に行きたいと思うでしょうか？家族や友達にスポーツをやってほしいと思うでしょうか？ドーピングが蔓延すると、フェアなスポーツは成立しなくなります。そして、スポーツの土台を支える「フェア」が無くなってしまえば、その上に築かれている、スポーツが持つ多様な価値は壊れてしまいます。それは、スポーツの社会的な信用を失墜させることにもつながります。さらに、ドーピングは健康上の被害を引き起こす可能性がある危険な行為でもあるのです。

アンチ・ドーピングは、スポーツにおけるフェア、スポーツの価値を守る活動です。アンチ・ドーピング活動を推進することで、フェアなスポーツが約束され、スポーツの価値はもっと多様に広がっていきましょう。そして、すべての人たちが安心してスポーツを心から楽しめるようになります。では、このようなアンチ・ドーピング活動に誰が関わっていくべきでしょうか？スポーツの価値を守るために、スポーツに携わる全ての人が積極的に参加する必要があります。トップアスリートだけでなく、トップを目指すアスリート、趣味でスポーツをする人、スポーツをみる人、ささえる人など、スポーツに携わる多様な人々がアンチ・ドーピングを知り、活動に参加することで、アンチ・ドーピングの目的である「スポーツにおける

フェア、スポーツの価値を守る」ことが実現できます。自分自身がスポーツの価値を守るためにできること、それを一人一人が実行していくことが、アンチ・ドーピング活動を構成していきます。

【スポーツの価値】

スポーツにはどのような「価値」があるでしょうか？ 健康な体づくりができること。挑戦する、勇気を持つ、相手を尊敬するといった気持ちの素晴らしさや、年齢や人種を越えた他者理解の心を育むことができること。チームワークやルールを守る姿勢を通して、フェアであることの大切さを知ること。さまざまな答えがあるかもしれませんが、その全てが「スポーツの価値」に含まれます。私たちは、スポーツをしたり、見たり、支えたりする中で、そのようなスポーツの価値にふれることができます。我が国のスポーツ基本法には、「スポーツは世界共通の人類の文化」と記載されています。私たち人類は、スポーツの中で多様な価値を育み、継承してきました。それは、上記のような価値が、単にスポーツの中でのみ尊重されているものではなく、スポーツ以外の日常生活のさまざまな場面においても、さらには個人の生き方としても尊重され、守られるべきものだ、と、世界の人々が信じているからです。あなたは「スポーツの価値」と聞いて何を想像しますか？そして、未来に継承したい「スポーツの価値」は何ですか？

* JADAホームページから引用